

敦賀出身、山下さん初監督作品

完成上映会に500人 盛況



完成披露上映会で舞台あいさつに立つ監督の山下大裕さん(右)ら＝26日、敦賀市のきらめきみなと館

敦賀市出身の山下大裕だいすけさん(20)が初監督を務めた自主映画「SNOWGIRL」の完成披露上映会が26日、同市のきらめきみなと館で開かれた。敦賀をメインロケ地とし

た映画を一目見ようと昼、夜の部に合わせて約500人が訪れ、会場をいっぱいにした。

山下さんは日本映画大3年生。「SNOWGIRL」は昨年10月に製作に取りかかり、今年2月に克蘭クイン。父と二人暮らしの女子高校生が、父の都合により祖母がいる敦賀で「冬を過ご

す物語。高校生は双子の妹と名乗る不思議な少女と出会い、他人を思いやる大切さを感じ成長していく。映画の8割は敦賀が舞台で、小雪の舞う気比の松原や、活気ある晴明の朝市が登場する。

山下さんは取材に対し「自分が生まれ育ち、メインロケ地の敦賀で上映会を開くことができているのがたい。まだ無名の存在だけど、多くの人に来てもらって期待を感じる」と話していた。舞台あいさつでは「2020年までに全国上映される映画を作りたい」と展望を語った。山下さんの幼なじみで、女子高校生と少女役を務めた双子の縄手麻里さん、梨乃さんも敦賀市出身。麻里さんはあいさつで「故郷の人にたくさん来てもらってうれしい」と述べた。